

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和8年6月9日（木） 13:45～15:45
- 3 開催場所 東濃高等学校ガイダンス室
会議開催前、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者
- | | | | |
|-----|-------|-------------------------|--------------|
| 会長 | 筒井 幹次 | 御嵩町副町長 | |
| 副会長 | 佐口 清道 | 会社役員 | |
| 委員 | 奥村 恒也 | 御嵩町教育長 | |
| | 各務 眞弓 | NPO 法人可児市国際交流協会 理事・事務局長 | |
| | 田中 静子 | 地域代表 | |
| | 山口 健 | 保険代理店 | |
| | 矢島 幹也 | 一般社団法人 てらす 代表理事 | |
| | 山田 泰平 | 東海化成工業(株)業務部人事総務課長 | |
| | 遠藤 弘美 | P T A副会長 | |
| | 山本 光子 | P T A副会長 | |
| | 学校側 | 二村 文敏 | 校長 |
| | | 野田 幹也 | 事務長 |
| | | 松久 潤 | 教頭 |
| | | 斉藤 寧子 | 教頭 |
| | | 佐合 ゆかり | 教務主任（アドバンス部） |
| | 篠田 祥史 | 生徒指導主事（生徒支援部） | |
| | 松岡 暢子 | 進路指導主事（アドバンス部） | |

5 会議の概要（協議事項）

(1) 令和8年度学校教育目標・具体的重点目標について

- ・学校紹介及び令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画
- ・令和8年度の方針と重点及び取り組みについて

意見1：学校経営計画の「学校の抱える課題」として、特に重視すべきキーワードがある。それは、自分自身を大切な存在と感じる「自己肯定感」、自分が役に立っていると実感する「自己有用感」、そして組織の一員であるという意識をもつ「帰属意識」の三つである。これらはいずれも社会の中で生きていく上で欠かせない要素であり、生徒一人ひとりがこれらの力をよりよく育むことができるよう指導いただけるとよい。

意見2：学校長の教育方針や学校経営計画から、熱い思いがよく伝わった。教職員が一丸となって、ますます元気な学校にしてもらいたい。東濃高校の良さを発信していくことが、御嵩町の元気につながると思う。小中学生との交流を大切にいただいている点についても、ありがたい取組である。

(2) 意見交流

- 意見 1 : 名鉄広見線の問題が取り上げられている。沿線自治体としては令和 10 年度末までの運行継続を実現すべく、要望・協議をしていきたい。また、廃線に向かう状況に対して下を向くばかりでなく、御嵩町が持続可能なまちであり続けるために、まちづくりについて、皆さまと一緒に考えていきたい。
- 意見 2 : 世間では暗いニュースも聞こえてくるが、テレビや新聞等で学校の様子がわかると嬉しい気持ちになる。取り組みをアピールしてもらえるとありがたい。生徒は落ち着いた態度で学習に取り組んでおり、文字も丁寧に書いていた。
- 意見 3 : 授業において、先生方がきめ細かな指導をされている様子が感じられた。間を取りながら、丁寧かつ生徒に寄り添った指導がなされていた。
- 意見 4 : 高校進学支援の有無にかかわらず、外国につながる生徒のなかには、高校進学を希望する生徒は多いので、そういった生徒は支えたい。今年度、10 代の子どもたちの日本語教室と、キャリア教育に関する教室を開設予定である。
- 意見 5 : 制服のリサイクル活動を行っているが、東濃高校の生徒もたくさん持ってきてくれた。また、東濃高校の生徒が学習支援のボランティアや各種イベントの手伝い、可児市の夏祭りでの多言語のアナウンスなどで活躍してくれた。
- 意見 6 : 駅前で多くの高校生を見かけるが、家庭や生活環境が多様な生徒も多くいる現状がうかがえる。近年は、成人男性から声をかけられる場面もあると聞いており、安全面や犯罪被害のリスクについて心配している。何か問題が起きた際に、一部の事例によって全体が一括りに評価され、いわゆるラベリングがなされてしまうことは大変残念だと思う。
- 意見 7 : テレビやラジオで東濃高校の様子が取り上げられることを、日頃から楽しみにしている。毎朝、正門付近で先生方が交通指導している姿は頼もしい。
- 意見 8 : 授業について、とてもゆっくり丁寧に進めている印象を受けた。学校長が言われるように、唯一無二の学校としての魅力をさらに高めていくためにも、通学手段の確保や支援の充実を図っていくことが重要だと思う。
- 意見 9 : 情熱をもって取り組んでくださる先生方が多くいらっしゃることは心強いと感じる。働き方改革が進む中、先生方が私生活との調和を大切にしながら、安心して指導に力を発揮できる体制の整備が大切であると感じた。
- 意見 10 : 生徒同士がシェアして、学びを深めている姿がとてもよかった。
- 意見 11 : 名鉄の問題は地域全体の課題だと感じている。東濃高校は特色もあり、ニーズもあるので、通学手段の代替措置を考え、学びの場を提供していくために、学校と行政で連携をしていく必要がある。
- 意見 12 : 授業参観ができてよかった。先生方が、何度も丁寧にくり返し説明をしている姿がとてもよかった。ゆっくり丁寧に授業をしている様子を見て、保護者としてとても安心できた。

6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の教育指導の重点及び学校運営計画について承認を得た。今後は具体的目標や取り組みについて、得られた意見を参考にし、組織的に教育実践を行う。学習指導においては「わかる授業」と個に応じた学習支援を行うこと、進路指導においてはキャリア教育を含めた総合的な支援を行うこと、生徒指導においては「あじみ（挨拶・時間を守る・正しい身なり）」の実践を大切にして、社会に出て通用する人間力を育てることを重点としたい。さらに、生徒一人ひとりの個性や努力を認めて伸ばし、自己肯定感や自己有用感に加え、帰属意識の育成にもつなげていきたい。

い。あわせて、地域の方々や保護者に対しては、ホームページや一斉配信メール（すぐーる）などを活用して、学校の様子を知る機会の充実を図るとともに、地域とのつながりを大切にした実践を積極的に行いたい。加えて、高校卒業後も主体的に学ぶ姿勢をもち続け、社会生活の中で自分の能力や可能性を最大限に伸ばし自己実現ができるように生徒の育成を目指したい。なお、法改正により記載が必要となった「教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施」については、働き方改革の推進に向けて、教職員の健康管理の充実を図るとともに、「早く帰る日」や「ノー残業デー」の徹底などの具体的方策を示した。